

## 助成金情報

他にも多くの助成金があります。詳しくは、メイトム宗像のホームページ⇒その他リンク一覧をご覧ください。窓口での相談も受け付けています。

メイトム宗像

検索

### 助成金 学術・文化・芸術・スポーツ分野

●ヤマハ音楽振興会 地域音楽活動支援

**対象** 演奏活動や創作活動を地域への音楽普及や音楽文化向上の視点で取り組み、成果を上げている音楽グループ、または団体への支援

**申込締切** 10月30日(金) ※楽器店必着

**助成金額** 1件あたりの上限額20万円、助成件数：50件程度

**問合せ** 一般財団法人 ヤマハ音楽振興会  
(申請窓口) 河島楽器店 TEL：0940-42-0680

### 助成金 保健・医療・福祉、まちづくり、環境保全、災害救援、地域安全、子どもの健全育成、経済活動など

●トヨタ財団 2015年度国内助成プログラム

**対象** 若い世代とともに地域に開かれた仕事づくりに取り組む事業やそうした仕事の担い手となる人材を育てる事業

**申込締切** 9月30日(水)

**助成金額** 総額1億円1件あたりの上限額なし

**問合せ** 公益財団法人 トヨタ財団  
TEL：03-3344-1701 FAX：03-3342-6911

### 助成金 まちづくり、学術・文化・芸術・スポーツ分野

●福武財団 2016年度文化と芸術による地域振興の助成

**対象** 活力あふれた個性豊かな地域社会を実現するため、地方公共団体等との緊密な連携の下、地域住民を中心としたアートによる創造的で文化的な表現活動を通じたまちづくり等の諸活動

**申込締切** 11月13日(金) ※当日消印有効

**助成金額** 1件あたりの上限額 300万円

**問合せ** 公益財団法人 福武財団  
TEL：087-892-4455 FAX：087-892-4466

### 助成金 環境保全分野

●日本河川協会「きれいな川と暮らそう」基金

**対象** きれいな川、親しめる川と共に暮らすため、川や水辺で活動を行っている学校や市民団体

**申込締切** 11月30日(月) ※当日消印有効

**助成金額** 1件あたりの上限額50万円

**問合せ** 「きれいな川と暮らそう」基金事務局  
TEL：03-3238-9771 FAX：03-3288-2426

### 助成金 保健環境分野

●都市緑化機構 花王・みんなの森づくり活動助成事業

**対象** 身近な緑を守り育てる活動や身近な緑を活用して子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動に取り組む団体

**申込締切** 10月16日(金) ※当日消印有効

**助成金額** 初年度50万円、2年目50万円、3年目25万円

**問合せ** 公益財団法人 都市緑化機構 みんなの森づくり事務局  
TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195

### 助成金 国際交流分野

●平成27年度 地域国際化推進活動支援事業

**対象** 県内に活動基盤を置く民間団体が行う、県民主体の草の根国際交流活動を促進し、地域の国際化を推進することを目的とした事業

**申込締切** 随時

**助成金額** 1件あたりの上限額20万円(対象経費合計の1/2以内)

**問合せ** 公益財団法人 福岡県国際交流センター  
TEL：092-725-9200 FAX：092-725-9206

## おすすめの1冊 私の推薦本



### 問いかける技術

確かな人間関係と優れた組織をつくる

著者：エドガー・H・シャイン

訳者：原賀真紀子

監訳：金井壽宏

出版社：英治出版

四六判 上製 240ページ 本体1,700円＋税 2014年11月発行

## 推薦文

NPOはつい自分たちの伝えたい事が先行し、一方的に語ることや情報発信をしがちですが、果たしてそれで本当に困っている人のニーズを満たし、社会に必要とされる活動が行えるでしょうか。

本書の著者である、エドガー・H・シャイン氏(マサチューセッツ工科大学=MIT名誉教授)は、他者と良い信頼関係を築き、真に寄り添っていくためには「謙虚に問いかける」技術が必要だと語っています。

特に、障がい者福祉や国際協力関係など、人を支える活動をしている方にはぜひ読んで頂きたいと思いますが、親子や、夫婦、上司と部下など、様々な人間関係をも良好にする普遍的な知恵が詰め込まれています。

どんな中身に気がなった方は、具体的な「ケース・スタディ」のページを立ち読みしてみてください。きっと「自分にもあるある!」と感じ、買って家でじっくり読みたくなると思いますよ。

## 本の紹介者

### 永田 賢介さん

NPO法人 アカツキ代表理事  
北九州市立大学非常勤講師

【持ち寄って働く、寄り合って暮らす。それぞれの『私たち』に拓かれた社会へ。】をビジョンに掲げ、福岡で寄付集めを中心としたNPOコンサルティング事業や、コレクティブスペース「エンガワ」の運営を行う。



講師を担当します!

宗像市人づくりでまちづくり講座

ファンダレイジング講座

10月実施予定

## むなかた NPO ボランティア情報紙

# ふらぐ

No.9

2015年9月発行

## テーマ 「育」

育ち、育つについて考える

「ふらぐ」は、NPO・ボランティア・市民活動の実践者を対象とした情報紙として、活動に役立つ情報をお伝えします。今回は「育つ」がテーマ。育ち育てる方法やそのエッセンスを考えてみましょう。

## 強い覚悟が自分を動かす

福祉従事者が、学習会や交流会を通して「E(笑顔)」と「g(元気)」を広げることが目的とした「Eg ブランダー」。代表の針池宗治さんの「育つ」について話を聞きました。



## 1 七人七色

Eg ブランダーは福祉従事者の集まりです。仕事を通じてもっと多くの人に「笑顔と元気」になってほしい。前向きで個性豊かな7人のスタッフが集まりました。事業の決定は「何をやるか」より「どういう姿勢か」が大事。今年3年目となる「宗像市人づくりでまちづくり事業」では福祉従事者の顔が見える関係を作り、専門職としてのスキルアップのための学習会やスポーツイベントを実施。楽しいことをして笑顔になることより、今までの仕組みを変えたり、壁を乗り越えて他の人にも笑顔になってもらえる「自立型姿勢」を身につけることを目指しています。

会議でもスタッフは思いが強く発言も積極的。学習会はハードルが高く難しいものになることもありますが、みんなのさまざまな発想で面白い企画に仕上がります。



笑顔あふれる針池さん

## 2 仲間が自分を育てる

「他人と過去は変えられない。変えられるのは自分と未来だけ。」それを頭に置き、私から動きます。「決められたことを進んでやる」からステップアップし「目的のために手段を生み出す主体性を持つ」大切さを知ってもらいたい。何かを感じ取ってそれぞれの現場で活躍するとうれしいです。

団体設立時に10年は活動すると決めました。代表の交代はせず、のれんわけのように主体性をもった新しいチャレンジを楽しみにしています。例え裏切られても相手を信じることを「信頼」と考え、スタッフとは一生付き合うつもりで真剣に向き合っています。スタッフも、遠慮はしません。よりよい活動を作り出すために、年齢や経験など関係なくぶつかります。振り返ると、その中でみんなに私が育ててもらっています。



笑顔と元気のTシャツ

職場で人材育成プログラムに取り組んだ針池さん。その時の失敗から、テクニックではなく背中を見てもらえるように、覚悟を持って取り組むことを学んだとのこと。Eg ブランダーを語る針池さんの情熱の強さからか、熱い取材になりました。



障がいがあったとしてもできるというこを伝えるスポーツイベント

皆さんからの情報を募集!! [munakata@mcforum.jp](mailto:munakata@mcforum.jp) 「むなかた市民フォーラム」まで

「ふらぐ」は、むなかた市民フォーラムが宗像市市民サービス協働化提案制度において、宗像市と協働で編集・発行しています。

発行/宗像市市民活動・NPOボランティアセンター  
住所/福岡県宗像市久原180 メイトム宗像  
電話/0940(36)0311 FAX/0940(37)4101

編集/むなかた市民フォーラム  
URL / <http://kouryuukan.com>  
E-mail/meitomu@city.munakata.fukuoka.jp

窓口時間/8:30～17:00  
休日/土・日・祝日



問合せ Eg ブランダー TEL：080-6429-4089 (針池)

100人に聞きました!

# アンケートからひも解く 活動での育ち

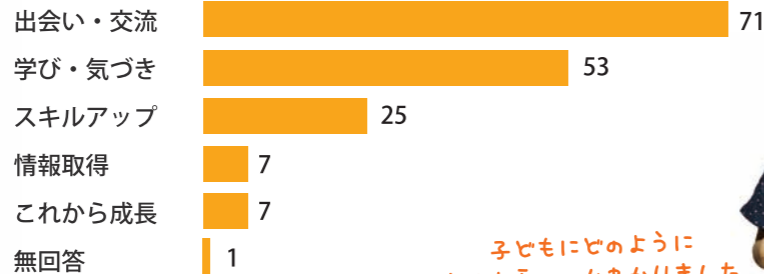
毎日どこかで NPO やボランティアなどの市民活動が行われています。今回は活動を通して「成長したこと」を、市民活動をしている市民 100 人に聞きました。そこから見えてくる「育ち」をお伝えします。

Q1

活動に参加して得られたものはなんですか?

複数回答有

調査時期：2015年7月～8月  
調査場所：宗像市内  
調査方法：市民活動をしている人の中から無作為に抽出



子どもにこのように教えたらいいかなかりました



活動を通して、たくさんのお会いや学びがありました



よい経験ができています

新しい仲間ができ、つながりがうまれました



## アンケート抜粋

地域住民とのつながりがうまれました。いろんな世代と交流ができる。(保健福祉・40代・男)

違う視点から物事を捉えることができるようになりました。(子ども・20代・女)

繋がりを作る工夫。(環境・60代・男)

協調性が高まった。(60代・女)

知らない世界に触れ合え、一歩踏み出すことができた。(福祉・60代・女)

視野が広がりました

始めから諦めずに、小さなことでも何かの役に立てると知ったこと。そこから、いろんな可能性を考えていけるんだって思えたこと。(中間支援・30代・女)

仲間づくりができ、健康になった。(70代・女)

性格が明るくなった。(福祉・50代・女)

子どもとの接し方を知ることができた。(教育・10代・女)

まだまだ成長まではいけません。(福祉・60代・女)

コミュニケーション力がついた。(20代・女)

スキルを活かし？成長できよう

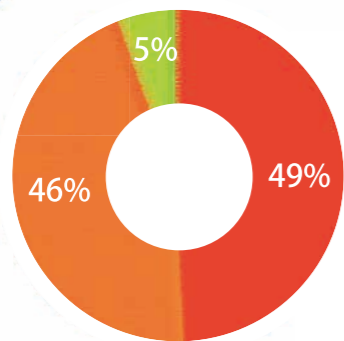


Q2

活動に参加してよかったですか?

満足度を数値で判定する

- 大変よかった
- よかった
- どちらでもない
- 悪かった
- とても悪かった



## 活動での成長は無量大

出会いや交流によって人は影響し合います。また、活動を通していろいろな学びや気づきが生まれます。その中でスキルアップをし、情報交換をすることで成長もあります。このように活動への可能性は無量大です。

アンケートでは、大多数の人が活動をして良かったと感じています。NPOやボランティア活動を通して、自らが育ち、仲間も成長し、地域の課題が解決する市民活動版の「三方よし」の考え方が広がると、ますます魅力的な人が増えるのではないのでしょうか。



## 九州大学の学生団体 “iTOP” から学ぶ育成のススメ

福岡県糸島市に拠点をおく九州大学で、地域活性化に向けた取り組みを展開する学生団体 iTOP。大学という限られた時間の中で、学生たちが iTOP に関わりながら成長していく過程取材した。



## INTERVIEW

代表 今井 宙 さん



いまい そら ●熊本県出身  
九州大学工学部3年生  
今年の1月に代表就任

70名程度のメンバーを擁する「iTOP」では5つのプロジェクトを展開している(下記に掲載)。各プロジェクトは10名程度のメンバーと、まとめ役のプロジェクトリーダーで構成される。企画や運営はもちろんのこと、活動資金の収集から、プロジェクト毎に行わなければならない。そのため、メンバー一人ひとりの責任も大きなものとなる。代表の今井さんは「壁に突き当たったこと多いですが、とりあえずぶつかってみて学ぶことを大事にしています」と話す。

成長のヒケツは  
責任感にあり

ミスマッチをなくす  
仮入部制度

毎年4月は新入生が入ってくる時期であるが、入部に至るまでにちよつとしたハードルが待ち構えている。それは、新入生を対象にした「1年生プロジェクト」。毎年5月頃に開催されるこのプロジェクトの内容は糸島のツアープランや地域イベントの企画など年度によって変化する。

このプロジェクトでは、2年生以上はサポートとして関わる程度で主体は1年生。現地調査から企画立案まですべて1年生が行う。

「何のサークルかよく解らずに入ってくる新入生も多いので、このプロジェクトを体験してもらおうこと、iTOPの活動を理解してもらっています。僕自身も最初は何となく入部した一人でしたが、このプロジェクトを通じて団体のことが理解できました」と今井代表。このプロジェクトを経て、最終的には約7割の新入生が入部するそう。

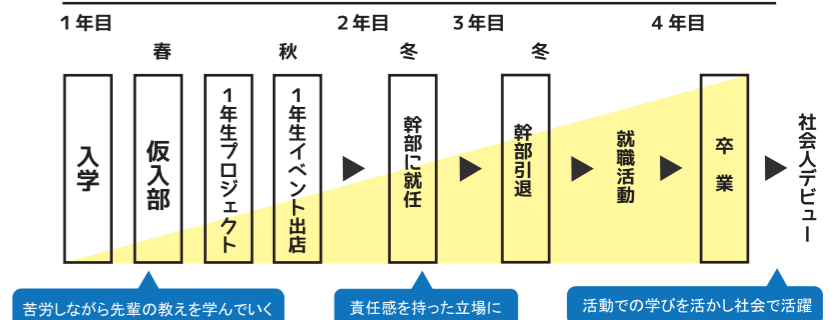
秋には、学内イベントの出店を1年生が中心となって企画運営する。これらの経験が糧となり、新入生は入部初年度から急成長し、2年目には主要メンバーとして活躍していく。

## コミュニケーション で絆をつくる

iTOPでは活動外でのコミュニケーションの場を大切にしている。定期的な飲み会を開いたり、毎年夏には合宿を開催するなどメンバー同士のコミュニケーションの場をつくっている。遊びだけでなく、学習会も開催するなどスキルアップにも力を注ぐ。それらは個々人の成長へとつながっている。

## 成長過程

学生たちはこんなふうに着いていく!



/ iTOP 活動内容 /

### ・糸島市地域活性化プランコンテスト

全国から学生を集め、合宿形式で糸島市を活性化するプランを考え競い合うコンテスト。

### ・九大生の教える科学と未来の体験教室

地域のイベントや小学校を中心に体験型の科学教室を開催。

### ・トウクトウ糸島走りタイ!

トウクトウを新たな観光資源としての活用を目指した活動。地域活性化プランコンテストでのアイデアが採択され事業化された。

### ・商店街活性化プロジェクト

商店街イベントの参加やシャッターアートなど商店街の活性化を行う。

### ・いとらいと

ことばで地域を元気にすることを目的とし地域や学生の情報発信を行う。

九州大学学生団体 iTOPとは  
2011年設立。学生として糸島にできることをコンセプトに活動する団体  
<http://itop.jpn.com/>

